





この事業は、近年横浜市で被害が拡大している「ナラ枯れ」について市民の皆さんと一緒に考え、緑豊かな横浜の里山を守り、さらには横浜の魅力を再発見して森や自然に関心を持ってもらう目的で企画しました。そしてこれは横浜市のSDGs biz サポート補助金の選定を受け、地域の問題解決につながるものとして実施しました。

ナラ枯れとは、ナラ菌が樹体内に入り水の通導が阻害され樹木を枯らしてしまう病気です。枯れてしまった樹木は倒木や落枝の被害や、山の中に枯れてしまった場合に林冠に穴が開き、雨が直接地面にあたるようになるため土壌の流出や斜面崩壊の危険もあります。数年前から近隣の地域でナラ枯れが発生していたのですが、令和2年には横浜市や周辺の鎌倉市、逗子市、横須賀市などで爆発的に増えました。原因は人間の生活様式の変化が原因と言われています。昔はミスナラやコナラは薪炭として利用されており、大きくなったらコナラなどは萌芽更新（根元で伐採して炭を作り切株から出てきた芽を育て数十年後に伐採をする）を繰り返していましたが、現代では炭

の活用も少なく大径木化した樹木が増えています。カシナガキクイムシ（以下カシナガ）は大径木を好むためカシナガの増加とともにナラ枯れ被害も増えたのだと考えられています。

昨年10月18日に上郷森の家というイベントを開催し、横浜市と周辺地域の皆さんを招待してナラ枯れのメカニズムやカシナガについての勉強会を行いました。カシナガはとても小さく体調はおよそ5ミリ程度なので、実顕顕微鏡で見てもらうと小さい昆虫がナラ菌と共生して大木を枯らしてしまうことに驚きの声もあがっていました。

このイベントに参加された方は「ナラガレンジャー」として、ナラ枯れの情報提供をお願いしました。情報提供は約100件いただき、ナラ枯れマップに分布状況（計284か所）がわかるようにしてホームページで公開しています。市民の皆さんと弊社で行った調査の結果、横浜市北部よりも南部での被害が多く、今後、北部の地域で被害が増加していく可能性があります。今年度もナラ枯れの発生状況の調査を実施したいと思いますので、皆さんの情報提供をお待ちしています。今回取り組みをきっかけに市民のみなさんの自然への関心が高まり、「思いやり」の連鎖が地球を守ることを期待し、今後もこのような活動を続けていきたいと思っています。

このワークショップは発想力を養い、また物事を成し遂げる達成感もあり、チームワークの大切さも醸成できるワークショップに感じるとともに学びを得て、社会貢献に取り組みんでいます。

東高校ユネスコスクールESD委員会での造園、環境についての講演から始まった活動は、委員が緑化活動を理解し実践することで、委員会の活動の基盤となり一般生徒や地域住民に理解していただく場として繋がっていく事を実感できました。取り組みの締めくくりとしてPhainix Programにおいて弊社のCSR、SDGs活動を紹介し地域企業としての理解が深まりました。

本年度は横浜だけでなく、社会的影響の範囲が広がった形での取り組みも行いました。神奈川県SDGsパートナーに登録していることで、神奈川県児童虐待防止キャンペーンに賛同し、工事車両の全てに自社でキャンペーンステッカーを作成し、掲出することで広報の一部をサポートできました。生きつらさをかかえる少女や若い女性たちと支援者を繋げる「若草プロジェクト」



撮影した動画はフェイスブックのライブ配信で視聴しました。上郷周辺の山ではナラ枯れの発生がとて多く、あまりの被害の多さに皆さん驚かれた様子でした。ドローンでの撮影が終わった後は、ナラ枯れに感染しているコナラを観察しました。見てもらうと、カシナガが穿孔して入った穴はとて小さいことや、フラス（木層）がたたく

## ～生き生き活動・地域に貢献～ 石井造園の取り組み紹介

CSRの取り組みをさらにSDGsのゴールとターゲットを意識した事業活動にしていこうという取組みも、コロナ禍において地域での活動も制限される中で、それぞれの活動を掘り下げていき地域だけでなくより多様なステークホルダーとの関係が生まれたい年もありました。

今年度のみどりアップ計画賛同による苗木の配布本数は420本でした。コロナ禍ではほとんどのイベントが中止となりまして、自粛下の時期に受注した公共工事（仮称）舞岡町公園一部基盤整備工事」での周辺住民様への配布や栄区役所主催の本郷駅前リビンググにおいての配布を行うことができました。目標本数からかなり下回ってしまいましたが、受け取られた方々の反応から、ご自宅でのみどりの持つ役割を改めて感じました。

まだ落ち着かない状況ではあります。造園業とも関連しながら様々なパターンを想定し今後の配布計画を考えていきます。

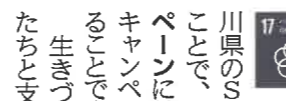
継続活動として、弊社が協力しているJIA（日本建築家協会）主催の「ごも空間ワークショップ」はこの3月に関東学院小学校で開催されました。こちらでは2年ぶりとなりましたが、今年是对策を十分とった上での開催となりました。木材と輪ゴムのみで作る立体物ですが、出来上

がりは想像以上に高さがあり、そのスケールの大きさに子供達も満足げに見上げていました。

このワークショップは発想力を養い、また物事を成し遂げる達成感もあり、チームワークの大切さも醸成できるワークショップに感じるとともに学びを得て、社会貢献に取り組みんでいます。

東高校ユネスコスクールESD委員会での造園、環境についての講演から始まった活動は、委員が緑化活動を理解し実践することで、委員会の活動の基盤となり一般生徒や地域住民に理解していただく場として繋がっていく事を実感できました。取り組みの締めくくりとしてPhainix Programにおいて弊社のCSR、SDGs活動を紹介し地域企業としての理解が深まりました。

本年度は横浜だけでなく、社会的影響の範囲が広がった形での取り組みも行いました。神奈川県SDGsパートナーに登録していることで、神奈川県児童虐待防止キャンペーンに賛同し、工事車両の全てに自社でキャンペーンステッカーを作成し、掲出することで広報の一部をサポートできました。生きつらさをかかえる少女や若い女性たちと支援者を繋げる「若草プロジェクト」



## ついでに、無理なく、達成感のある活動

金沢シーサイドタウンは工業地帯と居住空間を南北長さ4km人工緩衝樹林である金沢緑地で分離し、市の六大事業の柱として都市デザインされた街並みです。金沢シーサイドラインは当時最新鋭のモビリティデザインでした。

この度みどりを通じたコミュニティの場づくりと室内緑化の可能性を提案し、より豊かな日常を提供するため、金沢センターシーサイド名店会内「並木ラボ」に観葉植物のショップ「グリーンシンフォニー」を展開するはこびと成りましました。

きっかけとしては、横浜市立大学が平成25年度文部科学省「一地（知）の拠点整備事業」の選定を受け、サテライト拠点として「並木ラボ」を設置し、地域課題の解決に取り組んでまいりました。その際、観葉植物はどれも珍しく変わった物を取り揃えてあります。弊社としては室内空間にみどりを取り入れた生活の提案や、並木の水辺と緑の環境の楽しみ方を伝える場として、園芸外部評価委員会、価格委員の役割を担っています。グリーンシンフォニーは先行してオープンしましたが、並木ラボ全体的には7月頃リニューアルオープンする予定です。



金沢シーサイドタウンは工業地帯と居住空間を南北長さ4km人工緩衝樹林である金沢緑地で分離し、市の六大事業の柱として都市デザインされた街並みです。金沢シーサイドラインは当時最新鋭のモビリティデザインでした。

この度みどりを通じたコミュニティの場づくりと室内緑化の可能性を提案し、より豊かな日常を提供するため、金沢センターシーサイド名店会内「並木ラボ」に観葉植物のショップ「グリーンシンフォニー」を展開するはこびと成りましました。

きっかけとしては、横浜市立大学が平成25年度文部科学省「一地（知）の拠点整備事業」の選定を受け、サテライト拠点として「並木ラボ」を設置し、地域課題の解決に取り組んでまいりました。その際、観葉植物はどれも珍しく変わった物を取り揃えてあります。弊社としては室内空間にみどりを取り入れた生活の提案や、並木の水辺と緑の環境の楽しみ方を伝える場として、園芸外部評価委員会、価格委員の役割を担っています。グリーンシンフォニーは先行してオープンしましたが、並木ラボ全体的には7月頃リニューアルオープンする予定です。

ト」の応援の活動も開始しました。まちなか保健室で少しでもみどりの癒しに触れていただきたいと考える、観葉植物を提供するほか、クリスマス期には手作りリースの制作教室の開催も用意しています。このように活動がひろがりSDGsのゴールも多様になる事で社員の学びの機会も増え、また地域社会にどのような形で還元できるかを考えていきます。

環境に対する取り組み

日本政府が2050年までに二酸化炭素ネット排出量ゼロ（カーボンニュートラル）にするとの政策目標を表明しました。弊社は以前よりカーボンオフセットをすることで実際に排出をゼロにする努力を続けてきており本年度は電気に関しては100%再生可能エネルギーで賄うことを達成いたしました。そのうえで本年度もヨコハマブルーカーボン10・6t-CO<sub>2</sub>を含むクレジットを使いオフセットを全て完了しています。また更なる取



情報発信力の強化をテーマに挙げてFacebookの活用を含めた取組みをしてきました。横浜SDGs biz サポート事業「ナラ枯れを探そう」ではイベントの中の映像発信やYouTubeでの配信を駆使し、ホームページと連動した企画になりました。一方ホームページのリニューアルが難航し、また途中である事が課題として残っています。今後もCSR活動の動画配信なども含めて様々なステークホルダーに情報を公開してまいります。

令和2年度は前年度の目標を引き継ぎつつ新しい取り組みを取り入れました。新しい社員に加え、離職者もなく安定した要員でコロナ禍の難局を乗り切ってきました。コロナ対策においては社員ひとり一人が強い自覚を持ち私生活においても対策マニュアルを遵守してきました。毎年実施してきた社員研修旅行は断念せざるを得ませんでした。秋に行った樹霊祭は造園業に携わる者としての自覚を促し、また結束力を高めるイベントになりました。またまだ予断を許さない状態が続きますが、社員のモチベーションと集中力を高めるためのサポートをしていきたいと考えています。

令和2年度は前年度の目標を引き継ぎつつ新しい取り組みを取り入れました。新しい社員に加え、離職者もなく安定した要員でコロナ禍の難局を乗り切ってきました。コロナ対策においては社員ひとり一人が強い自覚を持ち私生活においても対策マニュアルを遵守してきました。毎年実施してきた社員研修旅行は断念せざるを得ませんでした。秋に行った樹霊祭は造園業に携わる者としての自覚を促し、また結束力を高めるイベントになりました。またまだ予断を許さない状態が続きますが、社員のモチベーションと集中力を高めるためのサポートをしていきたいと考えています。

情報公開に対する取り組み

情報発信力の強化をテーマに挙げてFacebookの活用を含めた取組みをしてきました。横浜SDGs biz サポート事業「ナラ枯れを探そう」ではイベントの中の映像発信やYouTubeでの配信を駆使し、ホームページと連動した企画になりました。一方ホームページのリニューアルが難航し、また途中である事が課題として残っています。今後もCSR活動の動画配信なども含めて様々なステークホルダーに情報を公開してまいります。

ワーク&ライフバランス

令和2年度は前年度の目標を引き継ぎつつ新しい取り組みを取り入れました。新しい社員に加え、離職者もなく安定した要員でコロナ禍の難局を乗り切ってきました。コロナ対策においては社員ひとり一人が強い自覚を持ち私生活においても対策マニュアルを遵守してきました。毎年実施してきた社員研修旅行は断念せざるを得ませんでした。秋に行った樹霊祭は造園業に携わる者としての自覚を促し、また結束力を高めるイベントになりました。またまだ予断を許さない状態が続きますが、社員のモチベーションと集中力を高めるためのサポートをしていきたいと考えています。